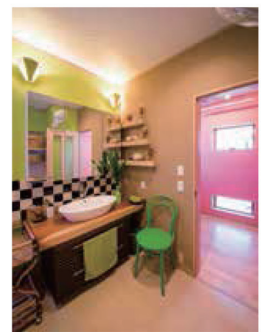




DINING リビングは一日を始める場所。元気が出るよう、ビタミンカラーの珪藻土を塗った。大胆な梁に合わせ、チョイスしたのは白樺で作ったフィンランド製の照明。食器棚は機能性を考え、既製品を埋め込んだ。



LIVING ダイニングとは別に、開放的なリビングを用意。「多灯使い」が好きだというJ夫人のこだわりで、間接照明や、スタンドランプを多用。夜はまた違った趣を楽しむことができる。



洗面所のテーマは「新緑」。市松模様のタイルがアクセント。奥にはドライルームも完備。



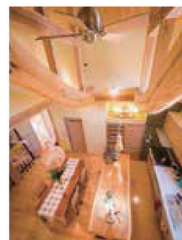
EXTERIOR わざと家の中を連想できないよう作ったという外観。セラミックタイル貼りで、洋テイスト。グリーン好きのJ夫人は、ここで土いじりをするのが日課なんだとか。



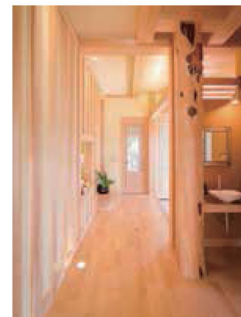
GUEST ROOM 県外からの来客が多いJ家。宿泊スペースとしても使えるゲストルーム。将来、介護が必要になったときのために介護用の洗面も付けている。



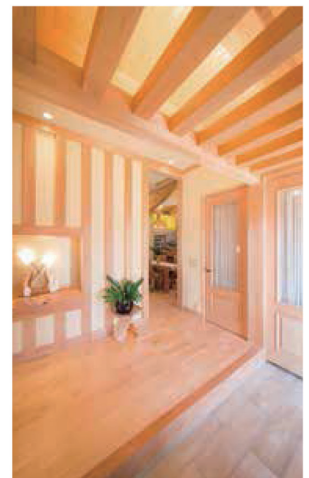
BED ROOM ティファニーブルーで統一された寝室のイメージは、「ホテル」。洗面所やトイレも同室内に配し、ベッドの高さにもこだわった。窓にかかるカーテンは、家を建てる前から持っていたもの、これに合わせて窓をとった。



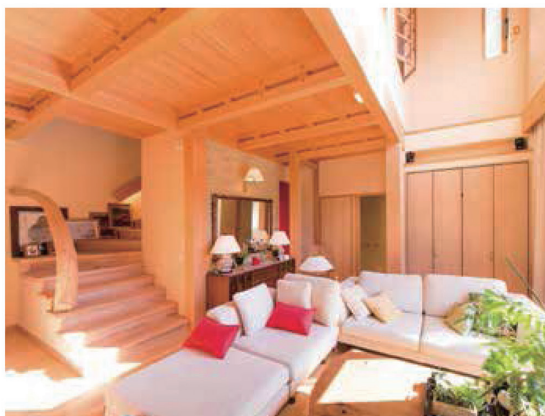
2階の小窓をあけると、ライトアップされた神棚と目が合う。



玄関近くに設置した独立手洗いは、来客時に便利。



ENTRANCE 玄関は「木立」をイメージし、木を格子状にデザイン。



「元々生えていた向きで建てるのがよい」という白川建設のアドバイスで、曲がった木をそのまま階段の手すりにつかった。天井からも、匠の技を感じる。

夢を叶えた家



森や太陽…自然を感じ心豊かになる、木の家



東日本大震災をきっかけに、愛媛へUターンし家を建てることとなったJ夫妻。「木と暮らす家」を思い描いていたふたりは、「木に対する熱い気持ち」を感じ、施工会社を白川建設に決めた。木を知り尽くした白川建設と、仕事柄スタイリングに詳しいJ夫人。お互いの知識を伝えながら、ディスカッションを重ね、丁寧に時間をかけて空間を作り上げた。「一人の木工さんがずっと携わり、家づくりのプロセスを一緒に楽しめたのがよかった。だんだん“あ・うん”の呼吸になり、思い描いたことがどんどん現実になっていきました」お互いのこだわりが解け合って、居るだけで心が豊かになりそうな、自然を感じる家が完成した。

夢へのこだわり
最高仕様が
標準仕様



白川建設が施工する
全棟で5つの独自工法を
標準仕様として採用しています

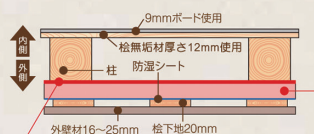
① EH2工法(高断熱工法 + 耐力壁工法) エアコン一台で家中冷暖房

弊社開発のEH2工法(高断熱工法+耐力壁工法)は、省エネ対策等級4の性能を有する工法であることが認定されています。等級4とは、国が定める温暖化抑制基準の最高ランクであり、弊社のような小企業が独自

工法で認定されるのは全国的にも極めて稀な例です。国土交通省は2020年までにすべての新築建物に省エネルギー基準への適合を義務付ける方針を正式に決定しました。弊社では1990年後半には高断熱住宅の開発を開始し、標準工法として、既にその条件を満たした家を提供してきました。EH2工法は、その断熱性能の高さから、エアコン一台で家中の冷暖房を可能にするため、冷暖房機器の台数を削減することができ、光熱費の削減、冷暖房機器の購入費を大幅に抑えることができます。



耐力壁工法のしくみ



針葉樹構造用合板
厚さ9mmの構造用合板で、「壁倍率2.9倍」という優れた数値を実現しています。

断熱材 ネオマフォーム(30mm)
最高レベルの断熱性能、熱伝導率(λ)は0.020w/k。気泡構造は100ミクロン以下と極微細。断熱性能の高さはこの気泡の細かさが実現しています。